

第6次白鷹町総合計画基本構想（案）のポイント①

序論

基本構想	平成32年度～平成41年度（10年間）
基本計画	前期：平成32年度～平成36年度（5年間）
	後期：平成37年度～平成41年度（5年間）

■ 計画期間

■ 町を取り巻く社会経済の流れ

項目	記載内容
急激な人口減少、少子高齢化の急速な進行	若者流出超過／集落機能の低下
グローバル化の進展と地域経済	グローバル化による地域経済への影響
安全・安心に対する意識の高まり	気候変動対応／公助、自助・共助
地球環境保全のための地域社会	CO ₂ 排出抑制／再エネへの関心の高まり
ICTの劇的な進化等技術革新の進展	ICTによる業務効率化／場所にとられない柔軟な働き方
ライフスタイルの多様化	若者を中心に田園回帰意識／働き方改革
コミュニティの弱体化、共助社会づくりにおける多様な主体の役割の拡大・多様化	少子高齢化による地域活動維持への懸念／多様な価値観や個人を重視する社会

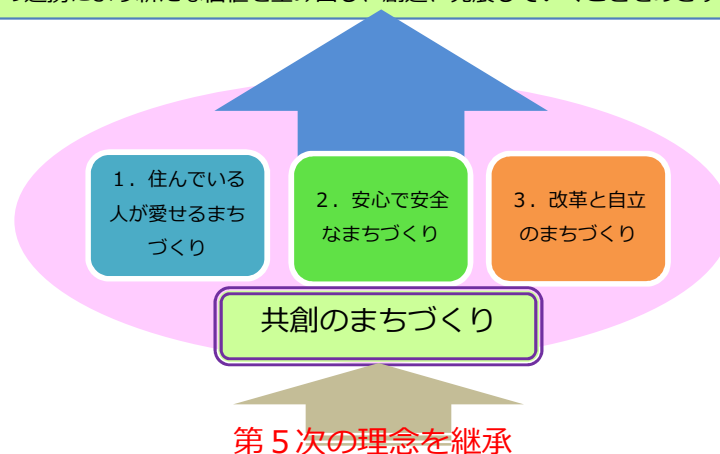
■ まちの特徴とまちづくりの課題

項目	記載内容
自然・地理的環境	自然豊かな町／中央を流れる最上川／新荒砥橋により東西が継ぎ目なく融和／広域交通網／公共交通網の課題
伝統文化、地域資源	多くの歴史的文化財／後継者育成と交流
産業	自動車部品関連に伸び／高齢化・担い手不足／農業は少量多品種生産、紅花生産は県内トップ／林業の成長産業化
くらし、ひと・地域	共創のまちづくりの取組／アンケート結果から①空き家増加②共同作業が困難な地域③集落維持の取組が課題④これからも本町で暮らしたい意向が多／コミュニティセンターを核とした地域づくり
特色ある地域づくり活動	地域資源の継承／地域発の支え合う取組の出現／住民主体のボランティア活動／複合施設の完成⇒集い・交流の拠点

第1章 まちづくりの理念

「共創のまちづくり」

町民と行政がそれぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、情報を共有しながら、対等な関係に立って協力していく協働の理念を踏まえ、多様な主体との連携により新たな価値を生み出し、創造、発展していくことをめざすもの



第2章 将来像

人・地域がつながり 輝き続ける 潤いのまち

自然が育んだ豊富な資源と共に、知恵、技術、教育、文化など、脈々と地域に受け継がれてきた歴史は、先人の日々の営みによって培われた恵みでもあり、そこには、人と人、地域と地域をつないできた、まさに人間としてのまなざしがあり、「潤い」のある未来につながるまちの姿があります。
 「潤い」が触媒となって、人と人・地域が、交通網などのインフラ、情報通信技術やネットワーク、広域的な市町村連携、地域外から地域に関わる関係人口、世界につながる国際交流など、多様な形でつながり合うことにより、新たな対流が生まれることで、誰もが活躍し、輝くことができる、未来につながるまちをめざします。

第6次白鷹町総合計画基本構想（案）のポイント②

第3章 まちづくりの目標と施策の大綱

■まちづくりの理念と将来像に基づき、4つの基本目標を定め、施策を展開していきます。

まちづくりの目標	施策の大綱	各施策
豊かな自然に包まれ、だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる「まち」づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊富な資源の管理と有効活用 2. 持続可能な循環資源の利用 3. 安心して暮らせるまちづくり 4. 雪に強く住み続けられる環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな森林の保全／魅力ある農村・農地をつくる／適正な土地利用／快適で潤いのある水環境 ・再生可能エネルギー利用の推進／環境・景観の保全／廃棄物処理を推進／環境美化推進 ・安心して暮らせる医療体制／思いやりのある福祉環境、健康づくりの推進／心、情報、交通のバリアフリー／サイバーセキュリティ ・道路／居住環境・住宅整備／雪に強いまちづくり、防災、気候変動対応／既存建築ストックの有効活用
夢を持ち郷土を愛する「ひと」づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てしやすい環境づくり 2. 次世代の人材（財）育成 3. 文化を核とした地域活性化 4. 新たな人の流れの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境の充実・維持／安心して子どもを産み育てられる環境／白鷹の子どもを育成 ・地域・人を知る教育の推進／質の高い教育を推進／高等教育等の充実／次代の親育成 ・芸術文化、伝統芸能、スポーツ推進／生涯学習推進 ・U I J ターンを推進／交流推進／起業・就業支援／地方創生の推進
地域資源を活かし、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 白鷹らしい産業の振興 2. 生産性向上に向けた環境整備 3. 稼げる産業の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業（経営体の育成・確保、スマート農業の実現）／林業（成長産業化、新たな森林管理システムによる森林経営管理の集積・集約化）／商工業（事業承継、適切な新陳代謝の促進）／食×観光 ・安心できる労働環境／産業人材の育成／新たな産業の創出 ・若者が魅力を感じる産業づくり／豊かな資源を生かした特産品開発／6次産業化の推進
地域の個性を磨き、「連携する（つながる）」まちづくり	<p>※「まち」「ひと」「しごと」3側面をつなぐ取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特性を生かしたそれぞれの地域づくり／地域の担い手育成／コンパクト・プラス・ネットワーク／広域連携（定住自立圏等）

H32 実施

「基本計画」策定プロセスで各施策に対する事業を具体化

第4章 基本構想の推進に向けて

1. 情報の共有と町民主体のまちづくり
2. 民間活力の活用と官民連携による新たな取組
3. 国、県、関係市町との連携